

超精密技術の相合で 自社のCO₂排出量削減に加え、 「ビヨンド ゼロ」を実現 世界のCO₂排出量削減をサポート

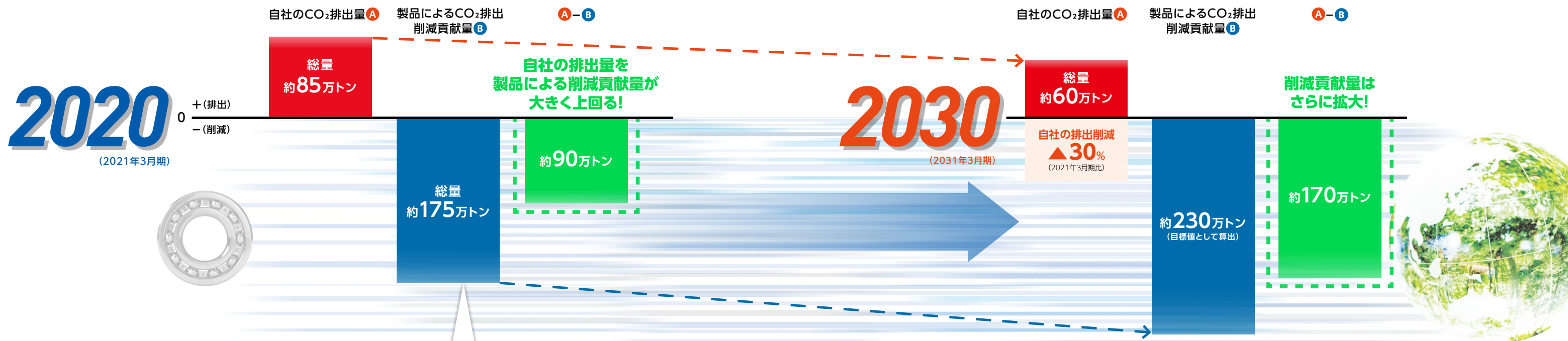
100周年・2051年のための新たな戦略

Q C D E S S TM
uality ost elivery co /efficiency ervice peed

ミネベアミツミは、世界中で気候変動への取り組みが喫緊の課題となるなかで、2051年の当社100周年に向けた基礎固めとして、QCDS (品質・価格・納期・サービス) に、Eco (環境)・Efficiency (効率)、そしてSpeed (スピード) を加えた「QCDESS」を新たな経営戦略として発表し、事業活動そのものを通じた環境負荷低減への対応を加速していきます。

自社のCO₂排出量削減 + 世界のCO₂排出量削減に貢献 ▶ 世界全体への貢献
ビヨンド ゼロへ

当社は、自社のCO₂排出量の削減努力に加え、当社の部品をご使用いただいている世界のお客様のCO₂排出量を削減することで、世界全体のCO₂排出量削減に貢献しております。そして、この取り組みを「ビヨンド ゼロ」と定義し、削減貢献量をさらに拡大することで、2030年、そして2050年の持続可能な地球環境の実現に貢献してまいります。



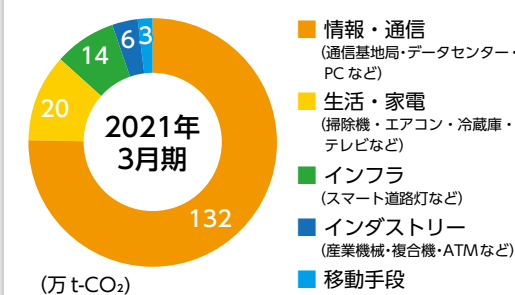
ミネベアミツミ グリーンプログラツ

ミネベアミツミの超精密製品は、摩擦や抵抗を減らすことで省スペースや省エネルギー化に貢献し、製品・事業そのものが地球環境改善に貢献しています。2019年より、特に環境貢献に優れた製品を「ミネベアミツミ グリーンプログラツ」として認定しています。

ベアリングをはじめとする各製品単品の超精密技術を極限まで高めるとともに、コア事業・コア技術を相い合わせる「相合」でシナジーを発揮し、お客様のCO₂排出削減貢献量をさらに拡大していきます。



CO₂排出削減貢献量と用途別内訳



「CO₂排出削減貢献量」は、「電子情報技術産業協会 (JEITA) ガイドライン」等に準じて算出しておりますが、「GHGプロトコル」のScope 1, 2, 3では算定対象外とされています (当社はBtoB部品メーカーであるため)。しかしながら、当社の高品質な製品を使用いただくことにより、お客様の製品におけるCO₂排出量削減に貢献するという考えに基づき、独自のKPIとして算出・可視化しております。

GHGプロトコルに基づく Scope 1, 2, 3に関する数値開示、製品のCO₂排出削減貢献量の詳細 P.53-56

算定式

$$C_d = \frac{\Delta W_r \times L}{H_{op}} \times Coef_e \times S$$

C_d : 直接貢献量 (kg-CO₂)
 ΔW_r : 定格条件での消費電力削減分 (kW)
 L : 定格での使用条件に対する実働状態の負荷率
 H_{op} : 稼働時間 (h)
 $Coef_e$: 消費電力の CO₂ 排出係数 (0.5001 kg-CO₂/kWh ※日本の平均排出係数)
 S : 販売数量

製品の省エネルギー効率をあげ、販売数量を拡大することによって、CO₂排出削減貢献量を拡大!

CONTENTS

社長メッセージ 超精密部品メーカーが目指す脱炭素社会に貢献する「より良き品」 — 3

チーフ・グリーン・オフィサー (CGO) メッセージ — 9

第1章 財務戦略・資本政策 — 11
(東京本部長 (CFO) メッセージ)

第2章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー — 15

第3章 価値創造への取り組み — 31
(事業別戦略・AI・DX推進・非財務資本の強化・エイブリック社長インタビュー)

第4章 価値創造を支える取り組み — 53